

東京ガス株式会社の株主の皆様 袖ヶ浦石炭火力発電所建設をご存知ですか？

地域住民は石炭火力発電所の建設に**反対**しています。
そして石炭火力発電所の建設は、東京ガス株主にとっても**リスク**の大きな事業です。

袖ヶ浦石炭火力発電所とは…

東京ガス株が、出光興産株、九州電力株と共に
出資した千葉袖ヶ浦エネジー株が、千葉県
袖ヶ浦市で計画を進める石炭火力発電所(設
備容量100万kW×2基、運転開始予定1号機
2025年、2号機2026年)です。

3km圏内には、幼稚園、小学校などが多数あり、
現在、東京電力のLNG火力発電所が稼働中
です。ここに新たな石炭火力発電所からの大気
汚染物質排出による健康被害、温暖化への影
響、近くに広がる盤州干潟の生態系への影響
など、地域住民から懸念する声が多数寄せられ
ています。



リスク1 企業評価の毀損

石炭火力発電所には批
判的な意見が多数。
クリーンなイメージの東
京ガス株が何故石炭火
力なのか？
イメージは大きく傷つ
ています。
建設反対キャンペーンも
行われています。



リスク2 電力需要の減少

東京電力が予想する2026年のエリア需要は2016
年度比約1.2%減と、むしろ減少しています。

袖ヶ浦火力発電所の運転開始予定は2025年、2026年。
東京ガスが描く電力需要見込みは正しいのでしょうか？

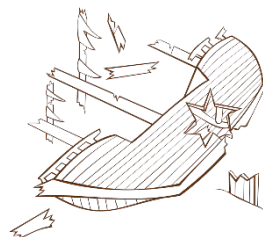
リスク3 温暖化対策等の 追加費用の発生

温暖化防止のための規制は強化される傾向に。排出抑
制のための設備投資や排出権の購入など追加費用が
発生する可能性が高いです。石炭は天然ガスの2倍の
CO2排出。業界の排出目標(0.37kg/kWh)も大きく上回り
ます。



リスク4 座礁資産化

石炭火力発電所は、上記リス
ク3などから、投資が回収不
能になる資産「座礁資産」と
して認識され、投資を引き上
げる動きが世界中で加速して
います。



隣の市原市で計画されていた石炭火力発電所は、東燃ゼネラル石油がパートナーである関西電力に**事業撤回を申し入れ、計画中止**となっています。

袖ヶ浦石炭火力発電所、本当にこのまま計画を進めて問題はありませんか？ >裏面へ続く

東京ガスさんに石炭火力は似合いません！

今年(2017年)になり、国内での石炭火力発電所建設計画は4基の中止*が発表されています。この中には、パリ協定をふまえての計画変更もありますし、昨今の気候変動をめぐる規制強化や電力需要の低下などを理由としているところもあります。

*兵庫県赤穂市の2基の計画変更、千葉県市原市の1基の計画中止、岩手県大船渡市の1基の計画変更(燃料を木質バイオマスに転換)



環境規制の強化について

全国的に急増した石炭火力発電所建設計画が全部稼働すると2030年温室効果ガス削減目標(26%削減)を大幅に超過。今後も電力事業者の取り組みをしっかりとレビューしていくと環境大臣が発言されています。

世界的に炭素の価格付けを行う「カーボンプライシング」の検討が進み、日本でも議論がスタートしています。ノーベル経済学賞を受賞された米コロンビア大学のジョセフ・スティグリッツ教授は、CO₂、1トンにつき50～100USD(日本円にして5,500～11,000円)が妥当との見解を示しています。

本計画は、東京ガス(株)で最終決定されたものではありません。まだ十分に引き返せます。

広瀬道明社長は本年4月28日の記者会見で、「環境保護と電力事業拡大の両立は大きな課題との認識を示し、九州電力、出光興産と千葉県で計画する千葉袖ヶ浦火力発電所についても最終投資決定までの2年間に環境政策を見極める必要がある」と述べられています。

**私たちは東京ガス(株)の経営陣の英断を期待しています。
株主の皆様も経営陣に英断を求めて下さい！**

先進企業は脱炭素社会を目指しています。東京ガス(株)も一層責任を果たすよう促して下さい！

石炭火力発電所建設に問題はないのか、是非、本日の株主総会で質問して下さい！



★千葉県袖ヶ浦市への石炭火力建設反対アクション★

主催 袖ヶ浦市民が望む政策研究会

共催 気候ネットワーク、国際環境NGO FoE Japan、国際環境NGO 350.org

